

令和5年度職員採用試験（第1回社会人経験者）
総合土木 専門記述試験（5.6.18）

次の2つの課題のうち、いずれか1つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○ デジタル技術を活用した社会資本マネジメントについて

広島県では、県の総合戦略である『安心▷ 誇り▷ 挑戦 ひろしまビジョン』において、「DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進」を全ての施策を貫く視点の一つとして掲げるとともに、『社会資本未来プラン』においても、建設分野における各種事業の効果を高めるための施策として「デジタル技術の実装によるイノベーション」に先駆的に取り組んでいます。

複雑に変化し続ける社会情勢に迅速かつ的確に対応していくためには、社会資本整備の調査・設計・施工から維持管理までのあらゆる段階において、デジタル技術を最大限活用しながら、県民の安全・安心・利便性の向上や建設分野の生産性向上を図るとともに、新たなサービス・付加価値の創出に官民が連携して取り組んでいくことが求められます。

そこで、デジタル技術を活用して、どのように公共土木施設等の社会インフラを効果的・効率的にマネジメントしていくのか、あなたの考えを具体的に述べなさい。

= 課 題 2 =

○「食料・農業・農村基本法」改正と今後の基盤整備について

食料・農業・農村基本法は、「食料の安定供給の確保」、「農業の有する多面的機能の発揮」、「農業の持続的な発展」と、「その基盤としての農村の振興」を理念とし、国民生活の安定向上及び国民経済の健全な発展を図ることを目的として制定されました。

しかし、制定から約20年が経過し世界的な食料情勢の変化に伴う食料安全保障上のリスクの高まりや海外市場の拡大等、我が国の農業を取り巻く情勢が制定時には想定されなかったレベルで変化しています。このため現在、食料・農業・農村基本法の改正に向けた議論が行われており、その論点として、「農地の確保及び適正・有効活用」「需要に応じた生産」「農業生産基盤の維持管理の効率化・高度化」「生産性向上のためのスマート農業等の開発普及」「人口減少下における末端の農業インフラの保全管理」などがあげられています。

そこで、これらの論点についての課題を2つ以上述べるとともに、それに対する基盤整備の方向性についてあなたの考えを述べなさい。